

(19) 日本国特許庁(JP)

(12) 特 許 公 報 (B2)

(11) 特許番号

特許第4665252号
(P4665252)

(45) 発行日 平成23年4月6日 (2011.4.6)

(24) 登録日 平成23年1月21日 (2011.1.21)

(51) Int. Cl.		F 1		
A O 1 K 61/00	(2006.01)	A O 1 K 61/00	A	
A O 1 K 63/00	(2006.01)	A O 1 K 61/00	B	
A O 1 K 63/04	(2006.01)	A O 1 K 63/00	C	
		A O 1 K 63/04	A	

請求項の数 2 (全 14 頁)

(21) 出願番号	特願2006-354868 (P2006-354868)	(73) 特許権者	599035627
(22) 出願日	平成18年12月28日 (2006.12.28)		学校法人加計学園
(65) 公開番号	特開2008-161126 (P2008-161126A)		岡山県岡山市北区理大町1-1
(43) 公開日	平成20年7月17日 (2008.7.17)	(73) 特許権者	506404854
審査請求日	平成18年12月28日 (2006.12.28)		株式会社K2ライフラボ
			岡山県岡山市北区理大町1番1号
		(72) 発明者	山本 俊政
			岡山県玉野市田井五丁目46番62号
		審査官	松本 隆彦

最終頁に続く

(54) 【発明の名称】 人工飼育水による養殖システム

(57) 【特許請求の範囲】

【請求項1】

カルシウムと、カリウムと、ナトリウムの塩化物を水道水や河川水あるいは地下水に添加し、比重が1.004以上天然海水比重以下となるように、これらカルシウム、カリウム、ナトリウムの必須成分を天然海水中の存在比と同じ比率で含有した人工飼育水と、この人工飼育水を満たした魚の養殖を行うための畜養水槽と、畜養水槽の一側端にあって、この畜養水槽との間に通水可能なスリットが設けてあり、畜養水槽内の人工飼育水が循環可能な給水循環部と、一端がこの給水循環部に開口し、他端が畜養水槽の底部に開口する人工飼育水の循環可能な循環路と、一端が前記給水循環部に開口し、他端が濾過装置および泡沫分離装置を経由して畜養水槽の他部に開口する人工飼育水の循環可能な濾過循環路とを有し、この濾過循環路は、畜養水槽から給水循環部内に流入した人工飼育水の上ずみ部分が濾過循環路内に入り込むように前記一端を上方へ上げて設けてある養殖システム。

【請求項2】

カルシウムと、カリウムと、ナトリウムの塩化物を水道水や河川水あるいは地下水に添加し、比重が1.004以上天然海水比重以下となるように、これらカルシウム、カリウム、ナトリウムの必須成分を天然海水中の存在比と同じ比率で含有した人工飼育水と、この人工飼育水を満たした魚の養殖を行うための畜養水槽と、畜養水槽の一側端にあって、この畜養水槽との間に通水可能なスリットが設けてあり、畜

10

20